

【一般財団法人倉敷成人病センター】

【KMC すまいる保育園】

所在地：倉敷市白楽町 292-3

園児定員：33名（うち地域枠 16名）

助成対象：

- ・サークル
- ・パーティション
- ・太鼓橋
- ・ソフト遊具
- ・ローラー滑り台

◇ **助成理由**

・病院職員の子どもの大多数は育休明けで入園する為、月齢差がほとんどない子どもの集団であり、生活リズムや遊びにさほど開きがない。

しかし、地域開放の子どもは0歳～2歳児で年齢に大きな差があることが予想される為、生活や遊びのスペースを仕切る必要がある。

また、各年齢で満足のいく遊びを提供するための遊具が必要となる。

よって、それらを購入するための助成金を申請させていただきました。

◇ **有効性**

いずれの物品も子どもたちの安定した生活のために必要なもので、子どもたちが安定することは、保育所職員の安定にもつながり、保育士不足の中の職員の採用にも有効に働くと考えられる。

さらに保育士の採用がスムーズだと受け入れる子どもの人数にも制限がなく、地域開放の子どもの受け入れもスムーズにいくと思われます。

◇ **成果**

① サークル

園庭との仕切りに使用することで、歩行の安定していない子どもでも外気に触れて遊ぶことができ、年長児が遊んでいる姿を見て楽しむこともでき、何よりそれぞれの年齢の子どもが安全に過ごすことができるので、地域開放の子どもを受け入れても安心して過ごせている。

② 太鼓橋

太鼓橋を使つての遊び方が年齢によって違うが、それぞれの年齢で楽しめていて、子どもたちみんなが粗大遊びが出来る。

③ ローラー滑り台

ホールに設置しているが、どの年齢の子どもも喜んで遊んでいる。また、地域開放の比較的年齢の大きな子（1, 2歳児）は滑る順番や、一方通行などの簡単なルールを身につけることができている。

④ パーティション

広い空間を仕切ることができ、異年齢の子どもでも同じ場所で遊ぶことができている。パーティションに高さがあるので、視界に入らないことでお互いに気が散ることなく、それぞれの年齢の子どもが集中して遊びや生活ができている。

⑤ ソフト遊具

全身を使って遊べるので、地域開放の2歳児も満足して遊べている。それぞれの年齢で違う遊び方をするが、年少児が年長児の遊び方を真似て挑戦する姿も見られ、異年齢児間のコミュニケーションもできている。

一般財団法人 倉敷成人病センター
代表理事 安藤 正明

◇ 助成品の利用の様子





